

専門部会検討事項及び委員構成について（案）

○街並み・交通アクセス部会

1 検討の視点

新小樽（仮称）駅は、小樽市の新たな玄関口として、来訪者を快適に迎え入れる環境の形成が望まれることから、駅周辺の自然環境を生かした街並みや景観等の形成の検討を進める。また、新駅は、中心市街地から離れた位置に設置されるため、様々な2次交通を確保し、中心部や市内各所の観光地、各種交通結節点等とのスムーズなアクセスの確保が重要となることから、新幹線開業後の交通量の影響を踏まえた道路ネットワークの検討を進める。

2 検討事項

(1) 2次交通手段の確保について

- ①新小樽（仮称）駅と小樽駅を結ぶ交通手段の強化
- ②市内各観光地へアクセスするバス交通の充実
- ③市内各地域からのアクセス強化
- ④タクシーサービスの充実
- ⑤北後志地域等との広域連携の強化

(2) 公共交通の利用促進

- ①公共交通の利用を促進するサービスの提供と魅力づけ
- ②移動円滑化の取組の推進

(3) 情報発信

- ①情報発信の強化

(4) 新小樽（仮称）駅周辺の魅力づくり

- ①協働による魅力的な景観形成

3 委員構成

* 部会のみ参加

No.	団体名	職名	氏名
1	小樽開発建設部		
2	後志総合振興局（小樽建設管理部）		
3	北海道中央バス(株)		
4	ジェイ・アール北海道バス(株)		
5	北海道旅客鉄道(株)		
6	小樽ハイヤー協会		
7	小樽商工会議所		
8	（一社）北海道建築士事務所協会小樽支部		
9	小樽商科大学		
10	市民		
11	天神町会		
12	小樽市総連合町会		
13	(株)トヨタレンタリース札幌*		
14	小樽市建設部新幹線・まちづくり推進室（地域公共交通担当）*		

4 部会運営担当

小樽市建設部新幹線・まちづくり推進室

○観光・産業振興部会

1 検討の視点

北海道新幹線の開業による観光への効果は、移動時間の短縮による利用客の利便性の向上や行動範囲の拡大をもたらし、関東地方はもとより、東北地方や道南地方からの観光客の入込増加が期待されることから、北後志地域や倶知安町、ニセコ町などとの周遊観光等の促進を図るとともに、受入体制の充実など、小樽観光の一層の魅力づくりに向けた取組を進める。

2 検討事項

- (1) 国内外からの観光客の誘致促進
 - ①新幹線を活用した魅力ある旅行商品の開発
 - ②新たな小樽の魅力となる各種商品の開発
 - ③新たな観光客を誘客するPR活動の強化
 - ④多様なツールを活用した情報発信
- (2) 新小樽（仮称）駅周辺の魅力づくり
 - ①イベント等の開催による交流・にぎわいづくり
 - ②豊かな自然環境の活用
- (3) 開業機運の醸成
 - ①新幹線開業に向けた市民の意識醸成
 - ②開業機運を高めるイベントの実施
- (4) 新小樽（仮称）駅からまちを散策する交通手段の充実
 - ①まちを散策する交通手段の充実

3 委員構成

* 部会のみ参加

No.	団体名	職名	氏名
1	新日本海フェリー(株)		
2	小樽商工会議所		
3	(一社)小樽青年会議所		
4	(一社)小樽物産協会		
5	(一社)北海道中小企業家同友会しりべし・小樽支部		
6	小樽市商店街振興組合連合会		
7	(一社)小樽観光協会		
8	小樽ホテル・旅館組合		
9	小樽ホテルミーティング		
10	朝里川温泉組合		
11	市民		
12	(株)日本旅行小樽支店*		
13	DCTツーリスト(株)*		
14	小樽市産業港湾部観光振興室(企画宣伝担当)*		

4 部会運営担当

小樽商工会議所